

建築に関する総合的な研修
(公社)兵庫県建築士会青年委員会

手描きパースセミナー

Vol.4 コミュニケーションとしてのパース表現

日 時：令和6年10月5日(土) 13:00~16:30

場 所：神戸市教育会館 203号室

参加者：15名(士会員：9名、非会員：3名、学生3名)

Vol.5 伝わるパース表現 スケールと奥行き

日 時：令和6年12月7日(土) 13:00~16:30

場 所：中央区文化センター1112室

参加者：12名(士会員：5名、非会員：1名、学生6名)

昨年までは外部からプロのパース作家を講師としてお招きしていましたが、今回は身近な内容をより気軽に体験できる講習にしたいと考え、新たな試みとして阪神支部に所属し前青年委員長の阪本剛史氏を講師に招きました。また例年、年に1度の開催で時間が限られており、基礎から応用まで一通り学ぶということができませんでしたが、今回は全2回の開催とすることで、基礎編から応用編まで一通り体験できる内容のセミナーを企画しました。

Vol.4 コミュニケーションとしてのパース表現 (10/5 実施)

まずはパースの基礎的な内容の講義から始まり、いくつかの建物の外観やインテリアの写真を見ながらトレースし、着色まで行うことで、パースの描き方や着色の方法などを実践的に学びました。最後は座席の前後左右で二人組になり、お互いの好きな空間、過ごしたい空間をヒアリングしながら、パースとして仕上げていくという課題

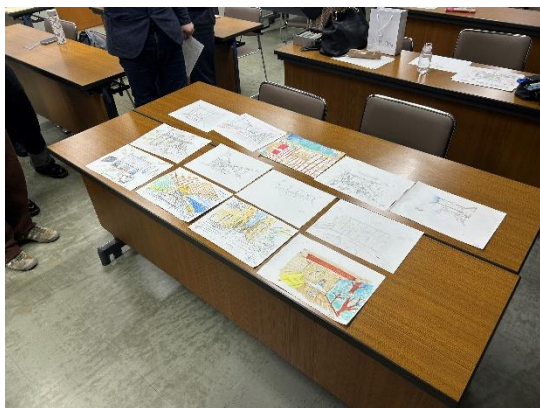
でした。この内容はまさに施主を前に、どんな建物にしたいか、内装のイメージをヒアリングしながらその場でパースを描き、施主と共にイメージを共有し、より具体的にしていくという、非常に実践に役立つ課題でした。私は講師の阪本氏とペアで行いましたが、自分以外の施主に対するヒアリングの方法やパースの描き方、着色の方法を真直かで見ることができ、普段ではできない体験をすることができました。



セミナーの様子

第1回目のパースセミナーは15名の参加者があり、小学生から実際に講師もされ

ている方まで年齢層も幅広く、また京都や和歌山からもご参加いただき、様々な参加者にめぐまれて、非常に充実したパースセミナーとなりました。



参加者の作品

Vol.5 伝わるパース表現 スケールと奥行き (12/7 実施)

第2回目では、前半は建物の外観パースの描き方を学び、休憩をはさんで後半で、まちの一街区を対象とした鳥瞰パースの描き方を学びました。

特に外観パースでは、2点透視図の作図方法を学んだあと、敷地図から好きな敷地を選んで、外観パースを作成し、最後に作品を集めて敷地図とともに見ることによって、参加者全員のパースでまち並みをつくることができました。



セミナーの様子

参加者 12 名と前回より若干少なめでしたが、6名の学生の方の参加がありました。また、約半数が前回から引き続き参加していただいた方で、2回のセミナーを通して味のある手描きパースのコツのようなものを身につけられたのではないかと思います。

今年度は2回開催しましたが、参加者想定していたよりも少なかったため、集客のための広報が課題と考えています。また、今回10月と12月に開催しましたが、10月以降は県内外においてイベントが多数行われ、特に12月は他の事業とのバッティングもあり、開催時期も課題と考えています。

いくつか課題はありますが、来年度はさらに魅力的で意義のあるパースセミナーとして、事業を継続していく予定です。



参加者全員で集合写真

青年委員会 委員長 高麗憲志